

平成29年度

# 扶養認定基準研究会

活動報告

平成30年3月22日

# 参加健保一覧

# 39健保48名 (男:9名 女:39名)

	健保名
担当理事	日本ヒューレット・パカード
リーダー	第一三共グループ
サブリーダー	日本アイ・ビー・エム
サブリーダー	ディスコ
サブリーダー	ノバルティス
サブリーダー	第一三共グループ
サブリーダー	ボッシュ
サブリーダー	ジャックス
サブリーダー	ニコン
サブリーダー	プレス工業
	日本郵船
	麒麟ビール
	ブリヂストン
	ブリヂストン
	ファイザー
	オリンパス

健保名
日本マクドナルド
日本マクドナルド
近畿日本ツーリスト
ヤマハ
T D K
丸井
ヤマトグループ
日本中央競馬会
三越伊勢丹
三越伊勢丹
野村証券
豊田通商
エーザイ
パナソニック
山崎製パン
サノフィ

健保名
日立
サッポロビール
東京ガス
ニチレイ
ソニー
太陽生命
協和発酵キリン
イオン
小松製作所
ディスコ
日本アイ・ビー・エム
ファイザー
日本コロムビア
日本コロムビア
オリンパス
トランスコスモス

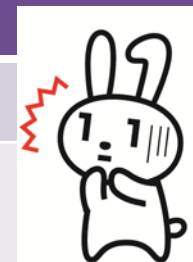
# 研究会活動Ⅰ．活動スケジュール概要

	開催日	開催場所	テーマ
第1回	5月19日	丸井健保会館	自己紹介・研究会運営・役割分担
第2回	6月16日	虎ノ門ヒルズ会議室	マイナンバー講義・情報交換
第3回	7月20日	丸井健保会館	健保連による講義（情報連携）
第4回	9月15日	TDK柳橋倶楽部	情報交換 事例ディスカッション
第5回	10月18日	日本ヒューレット・パカード会議室	
第6回	11月17日	丸井健保会館	
第7回	12月15日	丸井健保会館	
第8回	1月19日	TDK柳橋倶楽部	情報交換・アンケート結果共有
第9回	2月16日	TDK柳橋倶楽部	情報交換・事例集とりまとめ
第10回	3月16日	ディスコ会議室	事例集共有

# 研究会活動Ⅱ． 主要テーマと活動スケジュール

## ① 6月～7月

### テーマ：マイナンバーについての情報交換



6月

- ・基礎部分の講義
- ・班別情報共有



- ・メンバーを講師としての全体会
- ・ベンダー別班分け討議

7月

- ・健保連による講義 ※  
～情報連携後の事務について～

- ・運用上の法的な留意点
- ・事前質問への回答による実務上の留意点

※ 健保連 業務支援 G 鈴木GM、比留川氏を招聘

## ② 8月～3月

### テーマ：情報交換に基づく認定等実務の事例共有および事例集作成

8月

- ・情報交換、テーマ化する事例出し

- ・各健保の事例を共有しテーマ候補抽出

9月

- ・情報交換
- ・テーマ化する事例の選定

- ・毎回、聞きたい事例を持ち寄り情報交換
- ・テーマ候補の中から4～6テーマを選定

～

- ・テーマ化した事例の深堀

- ・4～6テーマを2回の研究会を1クールとし、2クールに分けて各健保の実務を共有

1月

- ・事例集作成準備、作成
- ・アンケート結果共有（1月）

- ・扶養認定等に掛かる日数調査等

2月

- ・情報交換、事例集作成最終調整

- ・各班各事例の事例集へのとりまとめ

3月

- ・各班事例共有（事例集）

- ・全体会議で各班事例を共有、意見交換

# 研究会活動Ⅲ. 活動内容（各班のテーマ等）

	A班	B班	C班	D班
リーダー	(日本ヒューレット・パカード) (第一三共G)			
	(ジャックス) (プレス工業)	(日本IBM) (ボッシュ)	(ディスコ) (第一三共G)	(ノバルティス) (ニコン)
メンバー	(ファイザー) (ヤマトグループ) (TDK) (サノフィ) (協和発酵キリン) (三越伊勢丹) (日本マクドナルド) (日本マクドナルド) (日本コロムビア) (日本コロムビア) (オリンパス)	(ブリヂストン) (豊田通商) (近畿日本ツーリスト) (エーザイ) (太陽生命) (丸井) (ソニー) (ファイザー) (ディスコ)	(麒麟ビール) (日立) (日本中央競馬会) (ニチレイ) (山崎製パン) (東京ガス) (イオン) (野村證券)	(ブリヂストン) (ヤマハ) (パナソニック) (日本郵船) (サッポロビール) (小松製作所) (三越伊勢丹) (日本IBM)
テーマ(事例)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・子（低報酬の被保険者）</li> <li>・親（外国人被保険者）</li> <li>・別居の親</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・同居の義父母</li> <li>・別居の父</li> <li>・被災後、同居を開始した親族</li> <li>・別居の父母（外国籍）</li> <li>・外国人の妻と子</li> <li>・生活保護が打切となった祖母</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・検認の書類が揃わない妻</li> <li>・給付型奨学金を受ける子</li> <li>・離婚調停中の子</li> <li>・海外出向先での・・・             <ul style="list-style-type: none"> <li>① 外国籍配偶者とその家族</li> <li>② 外国籍配偶者とその夫婦共同扶養の子</li> </ul> </li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・同居の義母（義父も健在）</li> <li>・同居の孫（娘の子） （元夫からの養育費あり）</li> <li>・別居の姉（障害者） （母とは同居）</li> <li>・別居の父（農業自営）</li> <li>・同居の叔父 （罹災後に同居開始）</li> </ul>

# 研究会活動Ⅲ. 活動成果 (事例集紹介【抜粋】)

## 被災したため同居を開始した親族の扶養 ①判断の際のポイント等

### 事例

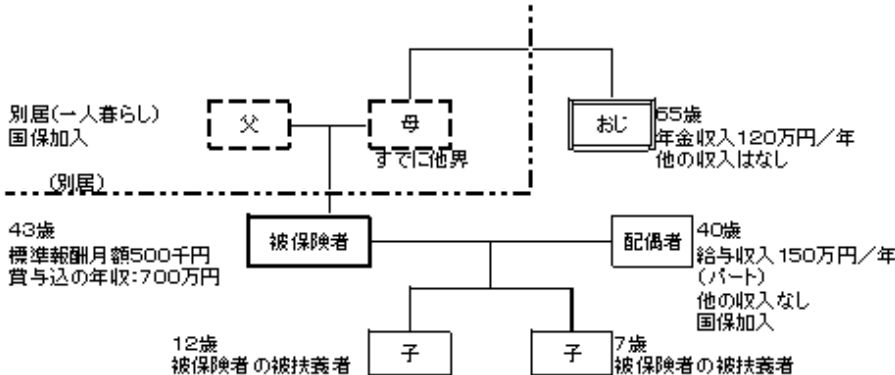
震災の被害に遭い、同居することになったおじを扶養に入れたい。

### 背景

おじが震災の被害に遭い、それまで住んでいた公営団地に住むことができなくなった。このため、新しい住居が決まるまで、同居することとなった。

### 状況等

被保険者、配偶者、子2名の4人暮らし  
被災したため、おじが同居開始  
別居時に生活費の送金等はなく、おじの年金収入と貯金のみで生活していた



### 考え方のポイント

- 「居所の一時的な移動」をどう考えるか
- 認定申請者の収入状況等に変化がないことをどう考えるか
- 震災により、必要書類が提出できない場合の対応

### 考えられる提出書類等

- 世帯全員の住民票
- 戸籍謄本(改製原戸籍)
- 所得証明書
- 年金振込通知書

### 事実確認が必要と考えられる事項

- 同居の事実
- 続柄
- おじの収入

## ② A健保

### 健保で話しあったこと

同居である場合、生計維持者とする必要がある。仮に被保険者が離れた。震災の際にけがを負うと

### 提出書類等

①戸籍謄本(おじ、被保険者)  
②住民票(続柄入り) 省  
③おじの収入確認書類  
④おじの生活費明細(1ヶ月)  
※自己申告で収入の

### 求めた書類の根拠

①被保険者との関係(続柄)  
②同居であるか、同一世帯  
③おじの年金収入額  
④1か月に必要な生活費

### 認定の可否

不認定

### 判定の判断理由

月額10万円の年金収入  
標準生計費・本人申告に  
本人収入額が、本人の

# 平成29年度 活動評価

## 良かった点

※ GW：グループワーク

- ・ マイナンバーの運用について、**健保連と情報交換**が出来た
- ・ 基幹システム**ベンダー別のGW**は、機能理解UPに参考になった
- ・ GWの人数(約10名)は、**ざくばらんに話せる**良いサイズであった
- ・ 法・通知の勉強会、アンケートの集計結果、グループワークでの事例の共有により、**自健保の運用を見直した**健保もあった

## 反省点

- ・ **経験年数による理解度の違い**に、適切にフォローできなかった
- ・ **欠席者へのフォロー**が、ほとんど未実施だった
- ・ 後半の研究会は班中心での活動だったため、**全体の共有**が出来なかった

# 平成30年度の活動目標

- **マイナンバー**情報連携で得られる情報の活用  
⇒ 7月からの情報連携の進化で “**使える**” ものに
- **検認**についての情報共有  
⇒ 大きな負担を少しでも軽減できる**ノウハウ**の共有
- 運用ルールのまとめ方や、**法・通知**との兼ね合い  
⇒ **正しい知識**の下、監査にも耐えうる運用を
- 経験年数や、自身が得たいテーマによるチーム分け  
⇒ 研究会で何を得て、**自健保に還元**するのかを  
参加者自ら考えられるような運営の工夫